

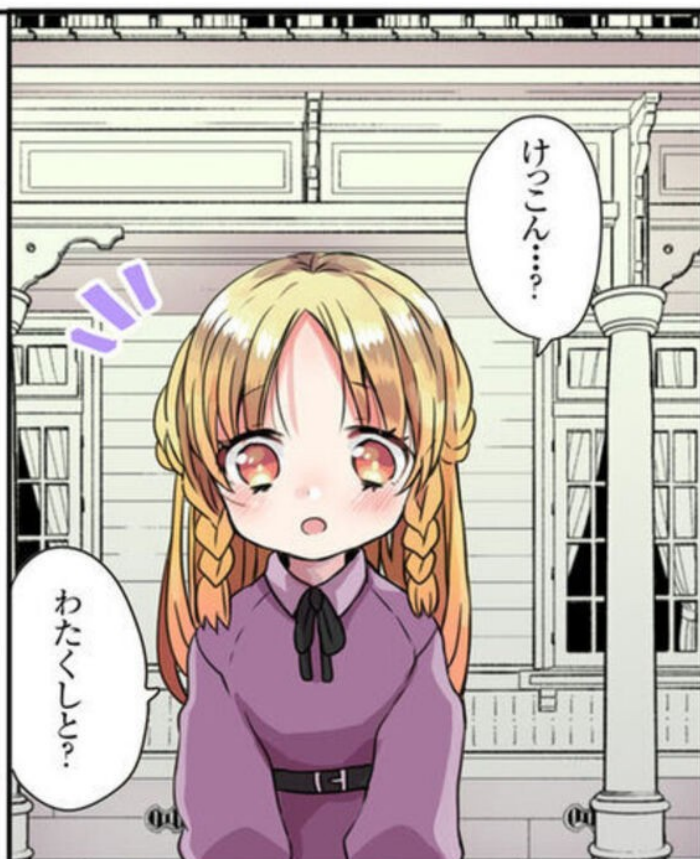


アイランドの裏事情

まめこ

イケないムコ選びの裏事情

第1話







それでさつき
あんな夢を…

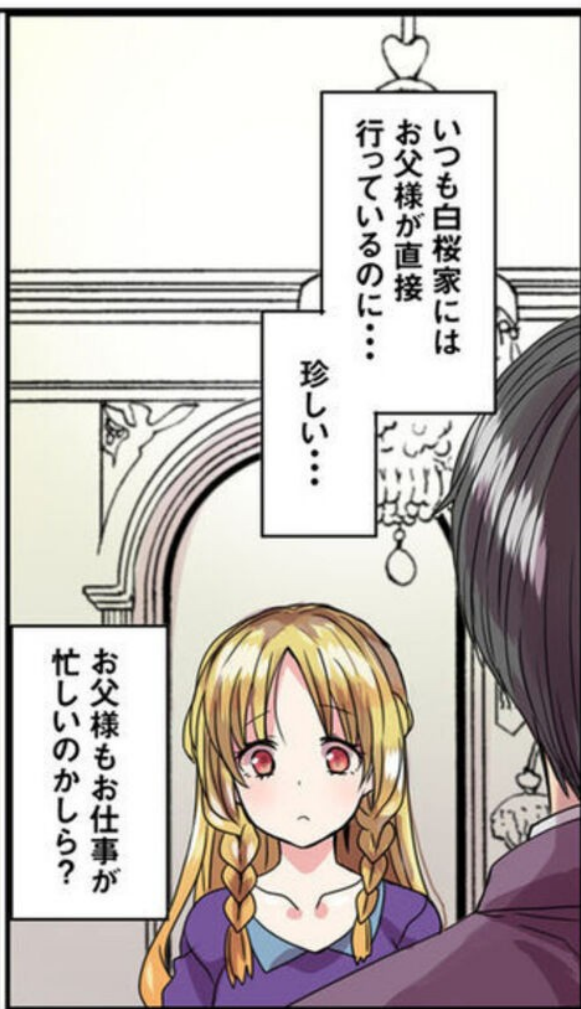
お嬢様
急いで下さい！



私が行くのは
凄く久しぶりで…

よろしく頼むよ
蜜乃…

子供の頃
以来だわ…



いつも白桜家には
お父様が直接
行っているのに…

珍しい…

お父様もお仕事が
忙しいのかしら？



でも
誰に言われたか
全然覚えてない…

あの男の子は
誰だったんだろう



やあよく来たね
蜜乃…



相変わらず
大きい家ですわ…





僕は三男の清高
よろしくね

ヒュ



気にしないで
正宗兄は
短気なんだ

コソコソ



そしてそっちの
目つきの悪いのが
さつきも説明した
次男の正宗兄

目つき悪いのは
親父譲りだ!



そんで
長男の透兄だよ……!

清高まずは
蜜乃ちゃんを
部屋に案内しようか

ここじゃお茶も
出せないからね



そっか……

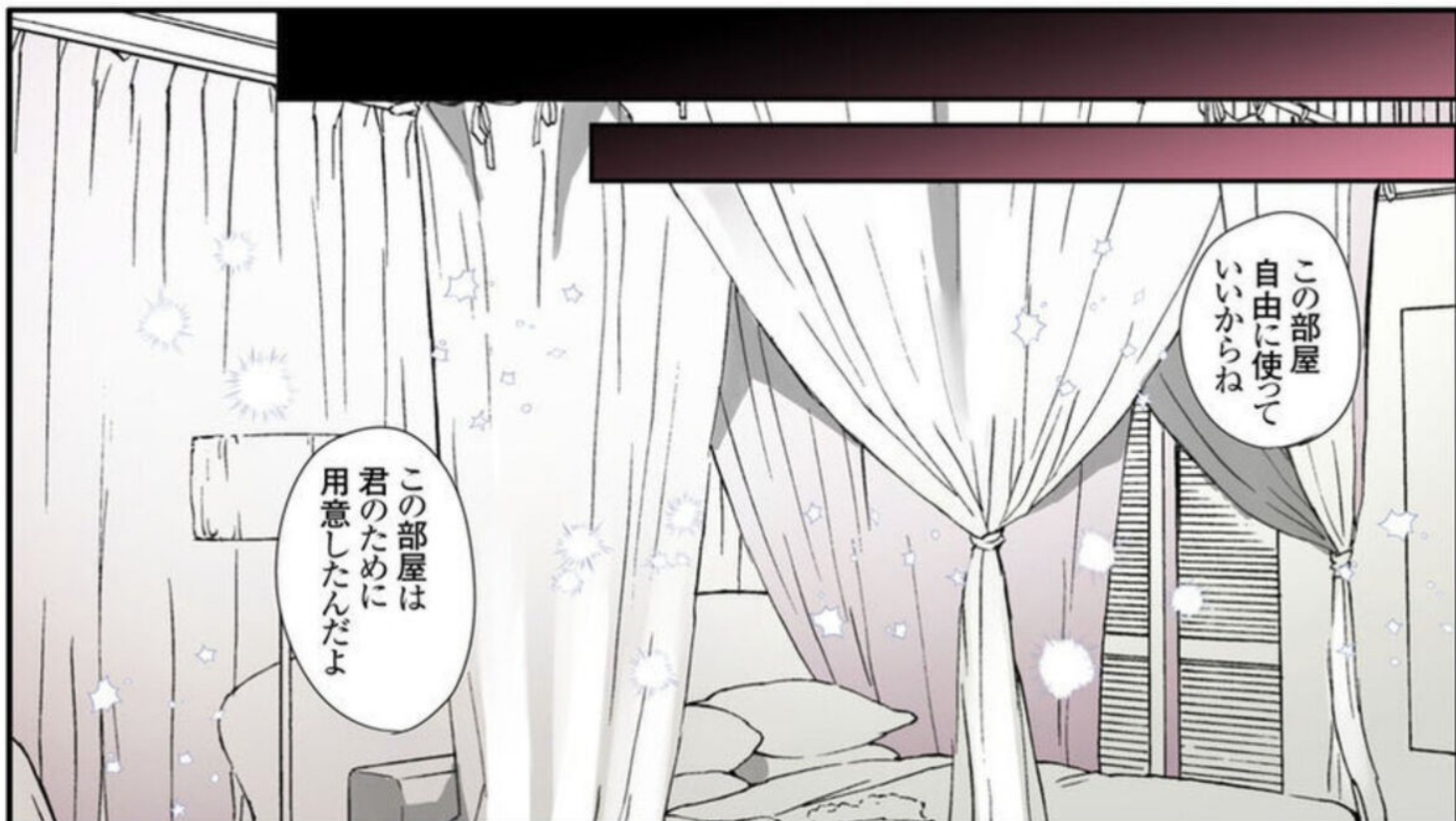
それは残念



さつき初めましてって
言ってたけど……

小さい頃この家に
来たの覚えてない?

それがあまり
記憶になくて……



この部屋
自由に使って
いいからね

この部屋は
君のために
用意したんだよ



何も…っ
ただこちらに
手土産を渡して欲しいと
言われただけで…

…そうか



あれ？
お父さんに話
聞いていないのかい？



あ…あの
この部屋の
家具とか

私の部屋
そっくりなんですが
…う



実はね花園家の
会社は倒産状態…

それでうちの白桜家が
買収したんだよ

そして
その条件として…



蜜乃ちゃん

あ…
目が覚めたかい？



不安な時こうして
抱きしめて
もらったつけ

ドキ
ドキ

ん…



大丈夫よ

ぎゅぎゅ

暖かい…
小さい頃よく
お母さんに…

蜜乃だったら
大丈夫だから…



…えっ

……



こらこら
暴れないで

まだ動かない方が
いいよ…

ぎゅぎゅ



きゃああ！
なんで一緒に？！

ここどこ！
おうちに
帰りたい！





逃げなきゃって
頭ではわかってるのに

本当に何も
覚えてない？

蜜乃ちゃん

昔会ったコト



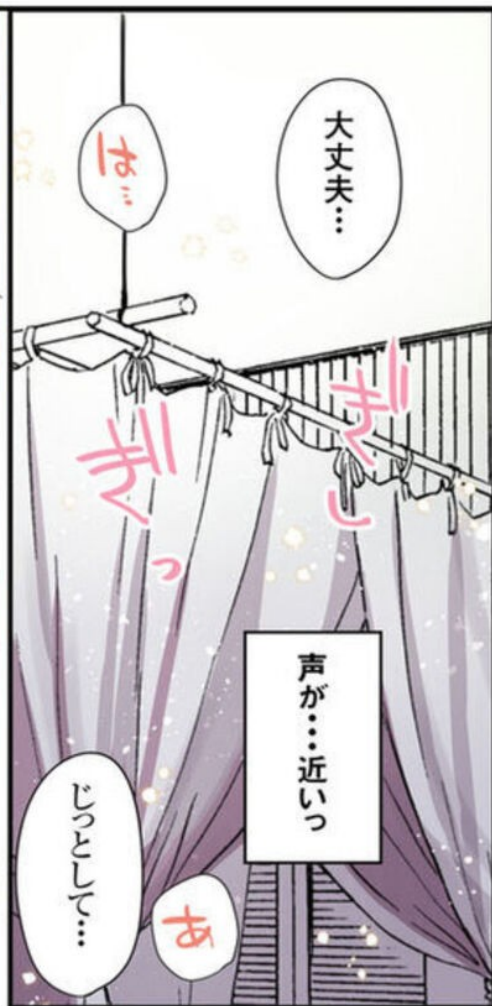
ひく

あ

はい

はあ

どうしてなの



大丈夫…

は

き

声が…近いっ

じっとして…

あ



あの時君に
プロポーズ
したコトがあつてね

蜜乃ちゃんにも
承諾もらつたん
だけどなあ…



ドキ

…あ！



覚えてません

は

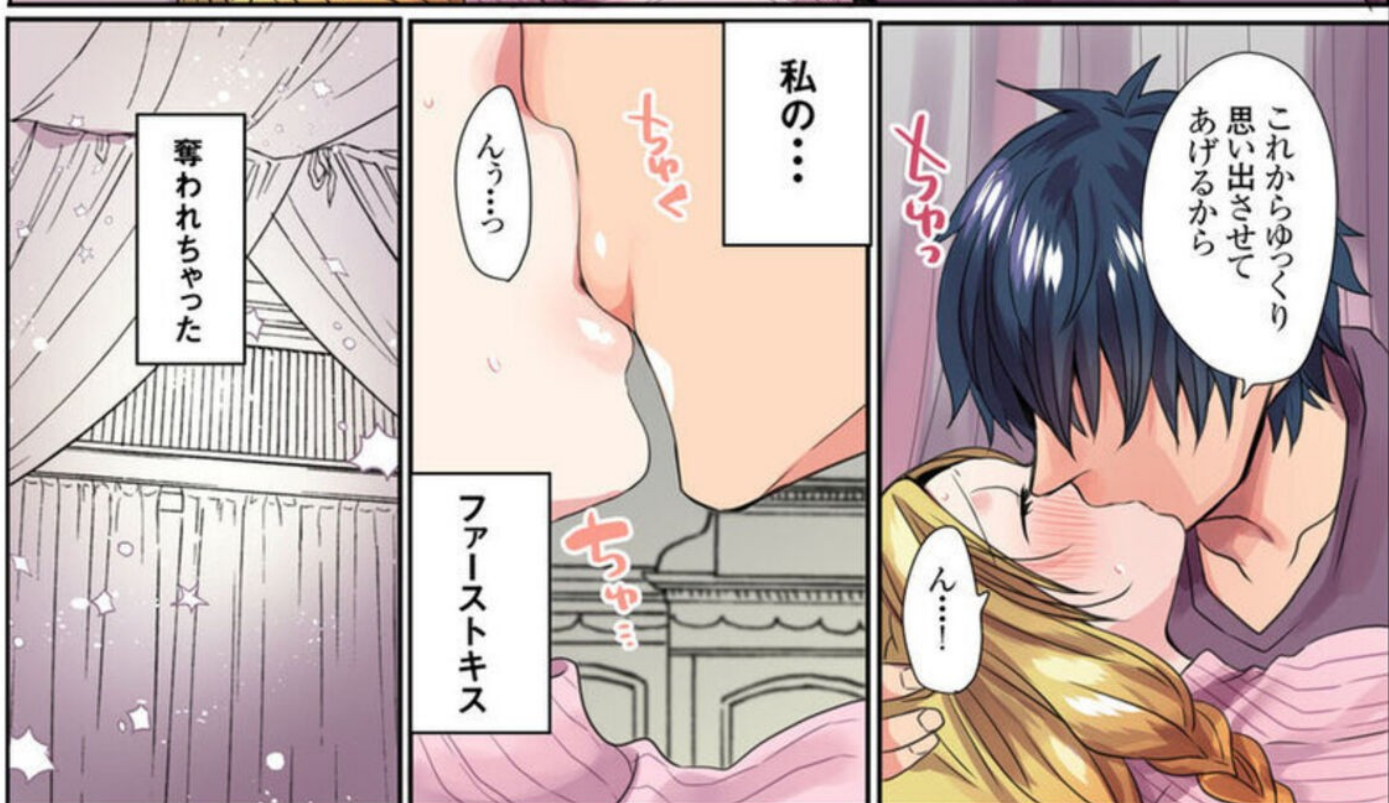
君はまだ
とても小さい
お嬢さんだったからね

覚えてないのも
無理はないか…

離れられない…

この
ぬくもりから

この人の
暖かさから











ごめんね
本当は優しく
したいけど...

大人になった
君を目の前にしたら

我慢できない



あう...
透さん...

覚えてないかも
知れないけど...

あの日からずっと
君のコト 想っていたんだ



私もこの人を
求めているの？



熱を含んだ声で
名前を呼ばれた瞬間

身体の奥が
じゅわりと
疼き始めた...



俺の「蜜乃」...





蜜乃…



この子は
俺にとって

凄く
特別なんだ



かわいそうに
色々あって疲れて
いるんだね…

兄貴に
やられたしな



無理させたことは
反省してるよ

今はゆつくり
寝かせてあげよう

そうだね



君が…
覚えてないなら
それでも構わないから…



…おやすみ
蜜乃…





イケないムコ選びの裏事情

①

まめこ

© まめこ／秋水社ORIGINAL